

1位	アイスランド	0.877
2位	ノルウェー	0.842
3位	フィンランド	0.832

5位 ニカラグア 0.804

13位 コスタリカ 0.782

22位 コロンビア 0.758

24位 トリニダード・トバゴ 0.756

25位 メキシコ 0.754

28位 バルバドス 0.749

30位 アルゼンチン 0.746

121位 日本 0.652

男女格差(ジェンダー・ギャップ)

各国の経済、政治、教育、健康の4分野のデータをもとに、男女の違いにより生じる格差を測ったものがジェンダー・ギャップ指数。数値が1に近いほど平等に近いことを表す。地域別に見ると西ヨーロッパ(76.7%)、北アメリカ(72.9%)、中南米(72.2%)と続く。ちなみに日本は153か国中、121位とかなり出遅れている。

31位 キューバ 0.746

37位 ウルグアイ 0.737

41位 ジャマイカ 0.735

42位 ポリビア 0.734

46位 パナマ 0.730

48位 エクアドル 0.729

科学系博士号の取得者数

世界の科学系分野(自然科学・工学・社会科学)の博士号取得者数(2016年)では、ブラジルが上位に。

1位	アメリカ	3万9,710人
2位	中国	3万4,440人
3位	インド	1万5,967人

7位 ブラジル 1万469人

10位 日本 7,391人

16位 メキシコ 2,654人

22位 アルゼンチン 1,716人

41位 チリ 495人

42位 コロンビア 395人

121位 日本 0.652

資料: GLOBAL NOTE

出典: National Science Foundationをもとに作成。

世界のベストレストラン50

イギリスの料理雑誌が2002年から発表していて、グルメ界のアカデミー賞とも呼ばれる。2019年は中南米から6か国がランクイン。

1位	Mirazur(フランス)
2位	Noma(デンマーク)
3位	Asador Etxebarri(スペイン)

6位 Central(ペルー)
ピラニアを使った料理が有名10位 Maido(ペルー)
日系人シェフがペルー×日本の「日系料理」を提供11位 傳(日本)
12位 Pujol(メキシコ)

出典: 「The World's 50 Best Restaurants」をもとに作成。

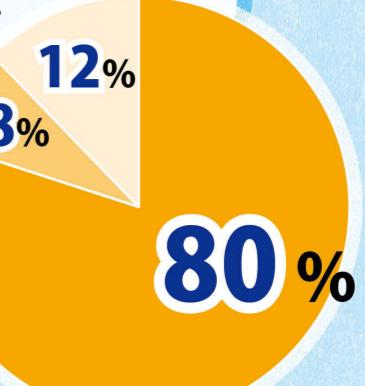
親しまれる日本

親日国が多いといわれる中南米。同地域の5か国(メキシコ、ブラジル、コロンビア、チリ、トリニダード・トバゴ)を対象にした調査では、8割の人が「日本に親しみを感じる」と回答。個別ではブラジルが92%でトップ。

あなたは日本に親しみを感じますか?

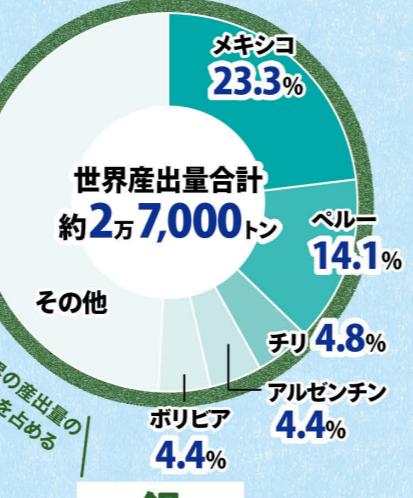
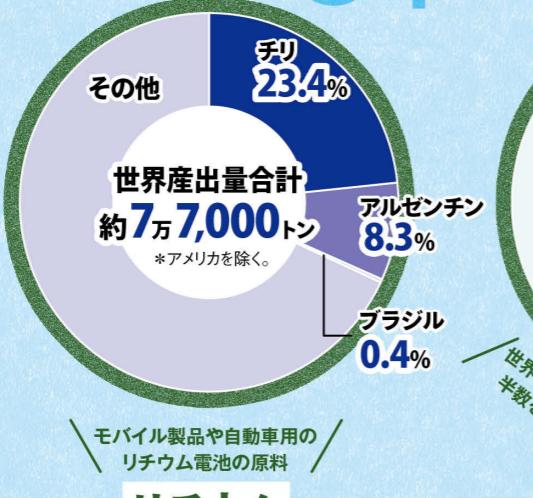
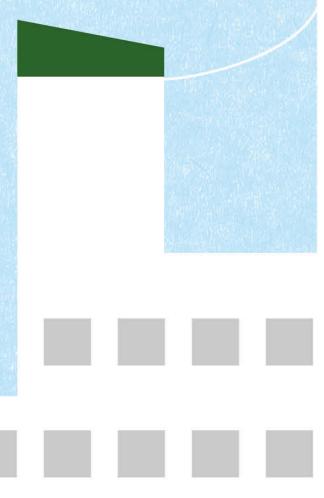
- 親しみを感じる・どちらかというと親しみを感じる
- どちらかというと親しみを感じない
- わからない

出典: 外務省「中南米地域5か国における対日世論調査」(2015年)をもとに作成。



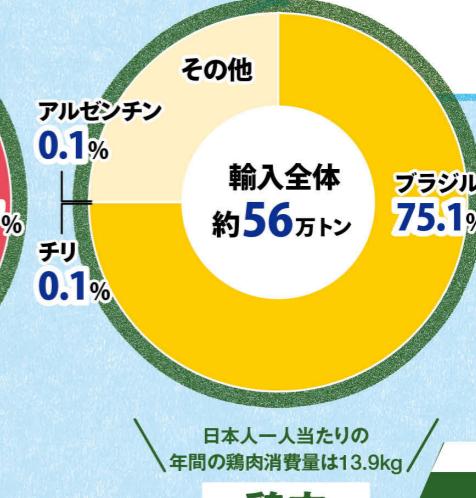
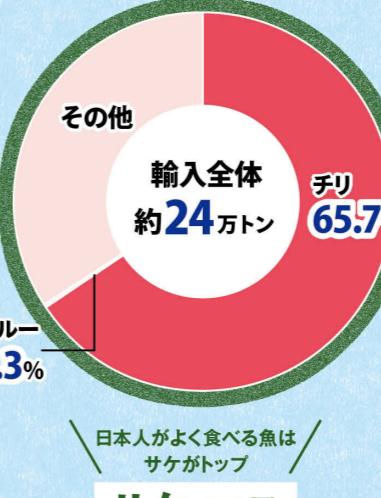
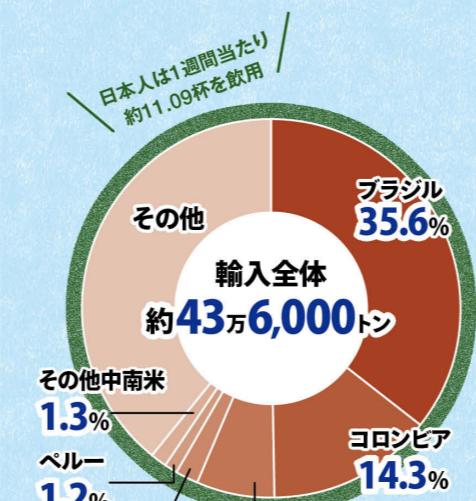
中南米を知る

中南米地域は33か国、暮らしている人々は約6.4億人(2017年、世界銀行)。自然や文化の存在や、食料・鉱物資源の輸入などで日本とも強い結びつきがある。



中南米におけるおもな資源の産出量

出典: U.S. Geological Survey「Mineral Commodity Summaries, January 2020」をもとに作成。



中南米から日本へ輸出されるおもな食料品

出典: 財務省の貿易統計、農林水産省「食糧需給表」、水産庁「国で見る日本の水産」、IOC(国際コーヒー機関)の資料をもとに作成。

地域や町を元気に! 一村一品運動

中南米の国々は、おたがいに切磋琢磨しながら一村一品運動*に取り組んでいる。地域や町の活性化を目指して新しい商品が次々と生まれている。

* 地域の特産を付加価値の高い商品に変えて販売し、経済の活性化を図ること。JICAは各國で協力している。

ホンジュラス

コーヒーに並ぶ名産品に

ホンジュラスは国内3か所で一村一品運動を推進。北西部のサンタバルバラ県はコーヒーの一大生産地として知られる一方で、新たな産業を育てようとした木工玩具を商品化した。日本で学んだ帰国研修員を中心となって地域のコミュニティとともに取り組んでいる。

サンタバルバラ県サンマルコス市の民芸品のひとつ、トロンボ(こま)のおもちゃ。



グアテマラ

マヤ文化の織物をアレンジ

グアテマラには22の民族集団が住むといわれていて、それぞれ独自の模様や織り方を現代に引き継いでいる。伝統織物の生地を使った商品は、財布や小物入れ、ショール、女性用靴など幅広く、どれもカラフルで繊細な魅力がある。

右: ソロ地方の織物。左: トニカパン地方の織物の女性用靴はニューヨークでも販売される。



エルサ尔バドル

「おいしい」と評判のジャム

エルサルバドル中央部のサンビセンテ県サンビセンテ市は、地場の素材を生かしたジャムを商品化。口に入れるほのかに香るココナツと刻んだパイナップルの食感を楽しめ、アイスやヨーグルト、グラノーラ、サワークリームとも相性もばっちり。地域を代表するブランド品だ。

メルメラーダ・ピニャ・コラーダ(パイナップルなど地元の产品を使ったジャム)。



アルゼンチン

より魅力的な観光地に

世界三大瀑布の一つ、イグアスの滝を有するミシオネス州では、同地を訪れる観光客に向けて周辺の名所や产品的アピールを取り組んでいる。先住民が守ってきた自然や生活をエコツーリズムとして紹介するなどと共に、伝統工芸品の木彫りや籐製品の開発を進めている。



エクアドル

暮らしに根づく刺繡工芸品

エクアドル北部のアンデス高地に位置するインパラ県のスレタ地区・エスペランサ地区では、1940年代からスペイン刺繡技術を用いた刺繡工芸品が作られている。素朴な模様にやさしい色合いを合わせた刺繡は地域の宝物といえるもので、地元住民がていねいに刺している。



コロンビア

全国規模で一村一品が普及

2009年から長く一村一品運動に携わり、国内12か所以上の生産者グループが工芸品、農畜産品、観光資源商品などを開発している。南米伝統のソンブレロ(つば付き麦わら帽子)をはじめ、砂漠の夜空の天体観測やコーヒー生産地の景観を売りにしたものなどバラエティが豊かだ。

